

「日本救急医学会総会・学術集会」に参加しました

当院の大垣院長が、10月30日(木)にグランキューブ大阪で開催された日本救急医学会総会・学術集会に参加いたしました。

学会では、シンポジウムやポスター発表に参加し、最新の救急医療事情や貴重な診療経験の報告を聴講するなど、有意義な時間を過ごしました。

また、以前の勤務先で共に重症患者の治療にあたった医師とも再会し、今後、救急医としてどのように社会に貢献していくかについて意見交換を行いました。

- 救急医が在宅医療に関わることで、不要不急の救急搬送を減らし、在宅看取りを増やせる可能性があること
- 一人体制で在宅医療を継続することは難しく、複数の医師が協力して関わる必要があること
- 医療現場における接遇(患者対応)の重要性が高まっていること

学会を通じて、これらの課題に対する意識を新たにする貴重な機会となりました。

帰院後は、院長より学会で得た知見をスタッフに共有する伝達講習を行っていただきました。

今後も、当院スタッフ一同、若松区・八幡西区・遠賀郡の在宅医療の発展に貢献できるよう、より一層努力してまいります。

このたびは、貴重な学びの機会をいただき、誠にありがとうございました。

